

平成 28 年度 第 1 回今宮工科高等学校・学校協議会（議事録）

日 時：平成 28 年 7 月 11 日 午後 1 時 30 分～

場 所：本校 視聴覚教室

参加者：

<協議委員>（敬称略）

関西福祉科学大学	伊藤 一雄
今工会（本校同窓会）会長	野田 昌洋（欠席）
(株)エムシステム技研	加納 孝幸
萩之茶屋社会福祉協議会会長	田中 康夫
いまみや小中一貫校校長	堀端 和彦
P T A 会長	辻本 佳代（欠席）

1 校長挨拶

- 挨拶
- 委 嘱

2 協議委員・事務局自己紹介

3 本校の課題について

- 教育方針（学校経営計画）について
 - 「確かな学力の育成」「規律・規範の確立と豊かな心のはぐくみ」
 - 「学校運営体制の確立と教職員の教育力の向上」
 - 「地域連携と安全で安心な学校づくり」
- 学校教育自己診断結果について
- 平成 28 年度『企業等連携による実践的技能力育成事業』について
- インターンシップについて
- 学校説明会等参加者に対する志願状況について
- 平成 28 年度入学者選抜について
- 出身中学校訪問について
- 授業見学について
- 今工生の進路状況について
- 飛翔教室（土曜日実施の自学自習教室）について
- 生徒指導について
- 教科書採択について

4 問題協議と提言 委：協議会委員 事：事務局（学校側） アンダーライン部：提言

委：学校教育自己診断の生徒アンケートで、「今工の学校生活に満足している」の肯定率が高いのがよい。

委：親・兄弟等に卒業生がいて、入学前から学校に信頼感を持っている生徒も多い。生徒達が充実した3年間を送って卒業していると思う。

委：インターンシップの参加率は？

事：2年生を対象としており、参加率は2割弱である。

委：生徒はほぼ府下全域から来ているが、何故か？

- 事**：交通の利便さがある。また、伝統や実績から今宮工科をめざしてくる遠方の生徒もいる。
- 委：中学校教員対象学校見学会アンケートにある「就職先などをさらにPRしてはどうか」という意見のとおり、進路について現状をよく知ってもらふような努力をすべき。大学生の就職状況と比較するようなことをしてもよいのでは。
- 委：中学校の若い先生に工科高校の魅力を伝えていくことが作戦的には大切。その先生が生徒に工科高校の良さを伝えるので、効果があると思う。
- 委：社会や企業でも女性の活躍を支援する時代である。工科高校では女子生徒数が少ないが、女子生徒を多く集める工夫をすべきであるし、女子生徒を受け入れやすいイメージをつくるべき。
- 委：大手企業を希望する生徒が多いとおもうが、大切なのは自分に合う仕事かどうかということ。企業見学や先輩の話を聞く機会など、仕事内容に関する情報を生徒に適切に与えることが必要である。
- 委：大学生の就職率は厳しい状況であり、また、離職率も高くなっている。工科高校においては、就職は100%で離職率も低いというのは、企業を選ぶ際のミスマッチが少なく、就職が定着しているものと思われる。
- 委：大学生の中退率が高くなっている。授業料を払えなくなるなどの原因があると思われる。大学進学には経済的な計画が必要であることを生徒に伝える必要がある。
- 委：学校周囲の歩道の状況について、交通安全面などで行政等に働きかけてはどうか？地域としても働きかけていきたい。

5 事務連絡

- 第24回大阪府産業教育フェア
平成28年10月22日(土)、23日(日) ORC(オーク)200
最寄り駅 地下鉄中央線・JR環状線「弁天町」駅下車
- 平成28年 文化祭
平成28年11月11日(土) 9:00~14:30 本校
- 次回以降の予定
平成28年11月11日(土) 13:30~ 第2回 文化祭
平成28年12月 日() 13:30~ 第3回 学校協議会
平成29年2月27日(月) 10:30~ 第4回 課題研究等合同発表会

学校長 謝辞